

令和元年6月25日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2018

課題番号：26370607

研究課題名(和文)EPA看護師候補者のためのオンライン漢字語彙教材の開発

研究課題名(英文)Development of Online Kanji Vocabulary Learning System for EPA Nurse Candidates

研究代表者

大谷 晋也(OTANI, Shinya)

大阪大学・国際教育交流センター・准教授

研究者番号：50294137

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：アジア各国との経済連携協定に基づいて来日する外国人看護師候補者は、数年以内に日本の看護師国家試験に合格することが要請されているが、これは容易なことではない。十分な専門知識と技能を有しながら、高い日本語力の要求が壁となって合格できず、失意のうちに帰国せざるを得ない候補者が多数にのぼる。そこで本研究では、特に漢字語彙習得の一助となるよう、看護師国家試験に頻出する単語をウェブ上で学習する「EPA看護師候補者用国家試験必修語彙学習システム」を開発した。システムでは、頻出単語の意味や発音を確認しながら実際の国家試験問題の学習を進めることができる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

母国での看護師有資格者を日本に招きながら、日本の看護師国家資格取得が壁になって、有為な働き手を失意のうちに母国に帰国させることは、本人にとってはもちろんのこと、母国や日本にとっても大きな痛手となる。「EPA看護師候補者用国家試験必修語彙学習システム」は、効率的な漢字語彙習得を促進させる学習方法の提案であると同時に、一人でも多くの候補者に看護師として日本で働いてもらい、本人と日本社会の福利の向上に資する可能性を有している。

研究成果の概要(英文)：Based on an economic partnership agreement (EPA) with other Asian countries, foreign nurses come to Japan to participate in a program to obtain a Japanese nursing license in a few years. However, the high Japanese-language competency requirement has prevented a majority of them from passing Japan's national nursing examination. In this research, to address the problem, we developed a web-learning tool called the "Essential Vocabulary Learning System for EPA Candidates for Japan's National Nurse Examination". The system helps candidates learn words that are frequently used in the national exam, and especially facilitates their acquisition of Kanji vocabulary. Learners can progress in their study for the national exam as they check the meanings and pronunciations of the frequently used words.

研究分野：日本語教育

キーワード：EPA看護師候補者 看護師国家試験 語彙データベース オンライン語彙教材 日本語教材開発

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

平成 20 年度に受け入れが始まった、経済連携協定に基づくインドネシア・フィリピンからの看護師候補者受け入れ事業は、候補者自身や各方面の努力にもかかわらず、看護師国家試験の合格率が低迷（10%程度）しており、所期の目的を果たしているとは言いがたい。候補者たちは看護師としての十分な能力を備えているにもかかわらず、国家試験の合格率が低いのは、日本語が大きな壁になっていることは明らかである。

2. 研究の目的

候補者たちが合格するための関門は、文法力や読解力よりはむしろ、語彙力であることが先行研究等において明らかになっている。その語彙も、一般的な日本語教育におけるそれとはかなり異質な面を持っており、それらに特化した学習を進めることによって、従来より短時間で効率的に語彙習得が可能になると考えられる。そこで、本研究では、特に候補者たちの学習の妨げになっている漢字語彙の習得に資するよう、看護師国家試験に出題される漢字語彙（混種語等含む）を調査・分析し、効率的な学習が可能になるようなオンライン教材を開発することを目的とする。

3. 研究の方法

研究協力者が既に機械可読化している過去 10 年分の看護師国家試験の語彙に加え、26 年 2 月および 27 年 2 月に実施される同試験の語彙を入力し、計 12 年分を教材開発の基礎となるよう設計してデータベース化する。平成 27 年度以降、作成されたデータベースを元に、効率的な語彙学習に貢献できる教材の開発を行い、それまでに得られたデータ及び知見に基づいてペーパーベースの教材を作成して看護師候補者に提供し、学習効果等のフィードバックを得る。その後、学習者からのフィードバックを参考にしながら、教材の問題点を解決しつつより広く利用できるオンライン語彙教材を設計・開発する。なお、オンライン教材を作成する際のプログラミング作業は業者に委託する。

4. 研究成果

基本的な医学術語の多くは漢字熟語から構成されていて、その構成基幹となっている二漢字語の一部が高い造語力を持っているため、学習者がそのような漢字熟語を学ぶことによって学習効率が高まるという研究が存在する。また、別の研究では、専門用語を、科学技術基礎用語・基礎医学系用語・臨床医学系用語・医療現場での接遇表現・医療日本事情等のように有機的にカテゴリー化し、カテゴリー毎に指導する方法の有効性が示されている。

そのような先行研究の検討に加え、官公庁および関連団体が公開した EPA 関連の資料・報告書より、EPA 看護師候補者の日本語等の研修や、就労現場で用いられている教材・リソースおよび学習・指導方法などに関する情報収集を行った。

そこから得られた知見に基づき、オンライン学習システムを作成するため、まず、第 95～104 回看護師国家試験問題に出現した共通単語に含まれる 3 級以上の単語 312 語を学習単語に選定し、第 104～106 回看護師国家試験問題から、学習単語が出現した問題例を抽出した。次に、各問題例のトータル単語数（単語数の少ない問題を優先）および共通単語が占める割合（割合の高い問題を優先）を考慮し、各共通単語の問題例を 3 問ずつ抽出した（問題数の少ない共通単語は 2 問のみ抽出した）。並行して、学習単語の英訳とその確認を進めた。これらのデータを、共通単語・難易度（日本語能力試験の級）・ふりがな・品詞・英訳・問題例・正解としてデータ

ベース化し、それをもとにしたオンライン学習システムの設計・開発を外部の協力を得て行った。各語に音声データも加えてデータベースを完成させ、「EPA 看護師候補者用国家試験必修語彙学習システム」として公開した。

候補者は、看護助手として各受け入れ機関で働きながら、個別にサポートは受けつつも、基本的には自力で日本語能力を向上させ、試験対策を行わなければならないのが現状である。本システムは、ネットワーク環境さえあればどこでも学習できるオンライン教材で、看護師国家試験の語彙対策を可能にした。本システムを通じた学習がいくらかでも合格率の向上につながれば、候補者にとっても制度全体にとっても大きな成果となる。

参考文献

- ・池田敦史・深谷計子他(2010)「経済連携協定に基づき来日した看護師の現状と問題点」『聖路加大学紀要』第36巻 pp.86-90
- ・岩田一成・庵功雄(2012)「看護師国家試験のための日本語教育文法必修問題編」『人文・自然研究』第6号 pp.56-71
- ・奥田尚甲(2011)「看護師国家試験語彙の様相 日本語能力試験基準語彙との比較から」『国際協力研究誌』第17巻第2号 pp.129-143
- ・増田光司(2004)「医歯学系留学生のための基本的な医学術語中の2字の漢字熟語についての研究」『東京医科歯科大学留学生センター紀要』第1号 pp.29-35

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 1 件)

「EPA 看護師候補者用国家試験必修語彙学習システム」陳 雪蓮・大谷 晋也・スミス 朋子 看護と介護の日本語教育研究会(2018年7月22日 首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年:

国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

「EPA 看護師候補者用国家試験必修語彙学習システム」

<http://oustd.jp/kangoshi/>

6 . 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：スミス 朋子

ローマ字氏名：SMITH, Tomoko

所属研究機関名：大阪薬科大学

部局名：薬学部

職名：教授

研究者番号（8桁）: 50402988

(2)研究協力者

研究協力者氏名：陳 雪蓮

ローマ字氏名：CHEN, Xuelian

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。